



6月議会安道よし子の一般質問

少子化対策・子育て支援を

入間市は、入院の無料化が県内で最も遅れており、今議会でようやく中学卒業まで無料化されました。

他市の批判とも取れる発言です。

入間市は県内上位の健全財政

通院も他市に比べ遅れている

私は、通院の無料化も近隣市に比べ遅れていることを指摘(下表)し、「通院も中学卒業まで無料化すべき」と質すと、市長は、「各自治体がサービス競争のように取り組む方が問題」と、

「中学卒業まで無料化となると、1億6千万円を増額し、総額で4億円必要になる。慎重に取り組む課題だ」と消極的ですが、入間市は健全財政であり、県内他市に比べ財政力は劣ってはいません。狭山市は約5億円、所沢市は約10億円、予算計上しています。

対象年齢	入院		通院	
	自治体数	自治体名	自治体数	自治体名
18歳年度末 高校卒業まで	2	越生・滑川	2	越生・滑川
15歳年度末 中学卒業まで	58	さいたま・川越・蕨・飯能 所沢・狭山・志木など	43	さいたま・所沢・狭山 蕨・上尾・富士見など
12歳年度末	2	白岡・杉戸	7	深谷・和光・朝霞など
9歳年度末	1	入間市	3	川越・日高・入間
6歳	0		1	
就学前	0		7	

入間市は6月議会で、4月に遡り入院は中学卒業まで無料に条例改正
所得制限の実施自治体はゼロ
自己負担の実施は2自治体

私が、「将来を見据え市民の願いに添えて子育て支援のまちづくりを」と訴えると、市長は、「子育て世代の強い願いであることは認識している」と答えざるを得ませんでした。

東町団地・4丁目周辺の道路整備

東町団地・4丁目周辺の道路は、国道463号線から入曽方面への抜け道となっています。30キロ制限道路にもかかわらず、スピードを下げずに通過する車両が後を絶たず、大変危険です。私は、路側帯のカラー舗装や、速度制限の表示などの安全対策を求めました。市長は「通学路であり安全対策は必要」と、答えました。



狭山茶のPR

いつもはつらつ
あんどう
安道よし子の
市議会通信

No. 28
2012年7月号



日本共産党市議会議員

梅雨も過ぎ、いよいよ、夏本番を迎えます。

「原発再稼働ストップ」の声をあげ、20万人の人々が、首相官邸を囲みました。消費税増税も国民の6割は反対です。

原発の再稼働を強行し、消費税の増税も押し通す政治はごめんです。国政も市政も、「声が届く」政治を実現するときです。



通院も中学卒業まで無料に

安心して子育てできる入間市に

入間市の合計特殊出生率は、平成8年に国が1・43、県と入間市は1・37だったのが、平成21年には、国が1・37、県が1・28に対して入間市は1・15まで落ち込み、少子化に歯止めがかかりません。入間の将来にかかわる問題です。

への支援が求められます。

病气やケガになってもお金の心配をしないで病院にかかれる、「子ども医療費」の拡充は、市民の切実な願いです。

年少扶養控除の廃止、所得制限の導入で子ども手当は、実質マイナス。

私は、一般質問で「子ども医療費の中学卒業までの無料化で、子育て支援のまちづくり」を求めました。



市民の切実な願い

「少子化」がすすむなか、子育て世代

みなさんの声を届けて働きます

安道よし子の連絡先 どんなことでもお気軽にどうぞ
電話・Fax 04(2962)8082 携帯 090(4811)0553

「子ども医療費」の通院はおあずけ

6月定例市議会

入院はようやく中学卒業まで無料に

今議会に提出された条例改正、補正予算など14議案は、すべて可決・成立しました。

県内で最も遅れている現状

子ども医療費支給に関する条例改正では、入院分について、現在小学3年生までとなっている支給対象を、中学卒業まで拡充するものです。

県内各自治体の医療費助成の現状は、入院分で高校卒業までが2自治体。中学卒業までは、58自治体となっており、小3までと遅れているのは、入間市のみであることが明らかになりました。この現状を重く受けての条例改正になります。



入間市内で行われた平和行進にはたくさんの方が集まり、核兵器廃絶と原発反対を訴えながら行進しました。

総括質疑のなかで、「後期5カ年計画では小学3年生までとなっている」「どれだけの財政効果が見込めるのか」など、制度拡充に批判的な声もありました。市執行部からは、「近隣他市との隔たりが大きすぎるのは問題」、「制度の拡充のため」などの答弁があり、議会最終日には全会一致で成立しました。

通院も中学卒業まで無料に

日本共産党入間市議団は、子育て支援策のひとつとして、議会で繰り返し、制度の拡充を求めてきた経緯からも、今回の条例改正には賛成し、通院も中学卒業まで無料化を検討すべきと主張しました。

市民の願い実現できる市政に

6月議会で、木下市長は今年11月の任期をもって退任することを表明しました。市長は8年前に「合併しなければ財政が破綻する」「政治生命をかける」として、狭山市との合併を強引に推し進めました。しかし、市民アンケートでは合併に「反対」が「賛成」を上回り、狭山市との合併は破綻しました。

市長は合併協議に1億3000万円もの税金をつぎ込みながら、その責任を取ろう

新日本婦人の会入間支部支部長 対馬ヨシ江さんの話

私たち新日本婦人の会は、長い間運動に取り組んできました。「やっとここまでできた。運動を続けてきて良かった。願いが大きく前進した」といった思いです。「お金の心配をしないで医者さんにかかれたら。安心して子育てのできる支援を」の市民の願いは切実です。引き続き、通院についても中学卒業まで拡大されるようみなさんと力をあわせたいと考えています。



20万人の再稼働撤回の声

7月1日入間市で市役所前に100人近くの市民が集結し平和大行進が行われました。核兵器廃絶とともに、脱原発が大きなテーマとなりました。

今、全国各地で、脱原発の動きが新しいネットワークで大きく広がっています。首相官邸前の抗議行動は、当初1000人規模だったものが、6月22日に4万5000人、29日に20万人と空前の規模に膨れあがっています。

日本共産党は原発再稼働に強く反対します。みんなで怒りの声をさらに広げ、再稼働を撤回に追い込もうではありませんか。

共産党議員の一般質問

- 石田よしお議員
原発ノー、オスプレイ、横田基地
- 吉沢かつら議員
介護保険制度の改善、保険料減免拡充
- 安道よし子議員
子ども医療費は通院も中卒まで無料に
- 小出わたる議員
保育の公的責任守れ、タクシー券存続

日本共産党市議会報告

2012年7月 発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883